

様式第1号(第5条関係)

公益財団法人東京都中小企業振興公社
理 事 長 殿

本店所在地	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇-〇	
名称	株式会社 自動転記のため 入力不要です	
代表者	(氏名)	東京 太郎

令和8年度 女性活躍のためのフェムテック開発支援・普及促進事業 申請書

下記のとおり助成事業を実施したいので、別紙の書類を添えて、助成金の交付を申請します。

記

1 申請テーマ (20字以内)

自動転記のため 入力不要です

※採択時には一般公開されます

2 助成金交付申請額

<開発・改良フェーズ>	4,700,000 円
<普及促進フェーズ>	1,162,000 円
合 計	5,862,000 円

3 助成事業完了予定日

<開発・改良フェーズ>	令和 〇 月 〇 日
<普及促進フェーズ>	開発・改良フェーズ完了後、1年以内

<注意事項>

様式の変更はしないでください。
・PDFに変換する際には必ず**ブック全体をPDF化**してください。
(シートの削除はしないでください)
・PDF変換後は、見切れていないか確認してから提出してください。
見切れてしまっていた場合も、そのまま審査します。

1. 申請事業者の概要

(基準日: 令和8年6月1日)

フリガナ	カブシキガイシャコウシャ		フリガナ	トウキョウ タロウ			
名称	株式会社公社		代表者氏名	東京 太郎			
組織形態 (基準日時点)	法人	プルダウン選択してください	職	代表取締役			
本店所在地	〒 000-0000	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇ー〇					
TEL	00-0000-0000		URL	https://www.tokyo-kosha.or.jp/			
都内登記所在地	〒						
TEL	本店所在地が都外の場合のみ記入 所在地が都外の場合のみ入力してください。本店所在地と同じ場合は「同上」とご入力ください。						
連絡先所在地	〒 000-0000	東京都△△区△△町丁目△ー△ △△△ビル△階					
TEL	000-0000-0000						
連絡担当者	フリガナ	コウシャ ジロウ		部署・役職	〇〇部長		
	氏名	公社 次郎					
	E-mail	〇〇〇@〇〇〇.〇〇.〇〇					
事業開始	創業	(和暦)	昭和〇年〇月	資本金	10,000,000 円		
	法人設立	(和暦)	昭和〇年〇月		(大企業からの出資)	円	
役員数	5 人(監査役を含む)			従業員数	100 人(うち正社員 90 人)		
事業概要	□□の製造	業種	大分類	製造業その他			
			中分類	29電気機械器具製造業			
主要製品	〇〇(製品名)	主要取引先の事業者名と売上高(上位3位)	1	株式会社A	〇〇 千円		
			2	B株式会社	〇〇 千円		
			3	株式会社C	〇〇 千円		
業績	直近	売上高	250,000 千円	営業利益	30,000 千円	経常利益	3,000 千円
	前年度	売上高	140,000 千円	営業利益	20,000 千円	経常利益	2,000 千円

2. 助成事業の実施場所(※創業予定者については、実施予定場所)

本助成事業を実施し、公社が検査時に、助成事業における購入品(機械装置含む)や経理関係書類、成果物等を確認できる場所を入力してください。原則、東京都内の自社の本社・事業所・工場等(借り上げ可)に限ります。

名称	株式会社〇〇〇〇 東京工場		TEL	00-0000-0000	
所在地	〒 000-0000	東京都	〇〇区〇ー〇ー〇		
最寄駅	路線名	JR〇〇	線	駅名	〇〇〇〇 駅

3. 東京都及び公社事業の利用状況(補助金・助成金以外)

基準日(令和8年6月1日)から過去3年間における東京都及び公社事業の利用状況(補助金・助成金以外)について直近のものから順に記載してください。※3つまで

No.	年度	利用事業	利用状況
1	R7	東京都知的財産総合センター 知財相談	利用中
2	R6	中小企業ニューマーケット開拓支援事業	利用中
3	選択してください		選択してください

必要に応じてプルダウン選択してください

4. 東京都その他団体での受賞歴(東京都ベンチャー技術大賞等)

基準日(令和8年6月1日)から過去5年間における東京都その他団体での受賞歴について直近のものから順に記載してください。※3つまで

No.	年度	団体名	受賞名	対象製品・技術
1	R7	東京都	世界発信コンペティション製品・技術部門 優秀賞	▲▲▲システム
2	R6	中小企業庁	はばたく中小企業300社 選定	—
3	選択してください			

5. 補助金・助成金の利用状況

(1) 受給済の補助金・助成金(過去5年間)

基準日(令和8年6月1日)から過去5年間の製品・サービス開発、創業、設備投資、販路開拓などの補助金・助成金のうち、国・地方公共団体等(公社含む)から受給済の補助・助成事業について直近から順に記載してください。※4つまで

No.	申請年度	申請先	助成事業名	申請テーマ	助成金額(円)	本申請との経費の重複	本申請との内容の重複
1	R7	東京都中小企業振興公社	新製品・新技術開発助成事業	●●●の開発	10,000,000 円	有	有
2	R6	(公財)○○○育成財団	研究開発助成金	▲▲▲システムの開発	2,000,000 円	無	無
3	R5	東京都中小企業団体中央会	ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金	○○による■■の開発	5,000,000 円	無	無
4	選択してください					選択してください	選択してください

※5つ以上ある場合には、特に関連のあるもの4つを記載してください。

(2) 実施中及び申請中又は申請予定の補助金・助成金

基準日(令和8年6月1日)時点で、製品・サービス開発、創業、設備投資、販路開拓などの補助金・助成金のうち、国・地方公共団体等(公社含む)で実施中及び申請中又は申請予定の補助・助成事業について直近から順に記載してください。※4つまで

No.	申請年度	申請先	助成事業名	申請テーマ	助成金額(円)	本申請との経費の重複	本申請との内容の重複
1	R7	東京都中小企業団体中央会	ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金	○○による▼▼の開発	5,000,000 円	有	有
2	R6	東京都立産業技術研究センター	中小企業のIoT化支援事業(公募型共同研究)	○○のためのアプリ開発	40,000,000 円	無	無
3	R5	東京都中小企業振興公社	TOKYO戦略的イノベーション促進事業	▽▽を用いた新たな◎◎技術の開発	40,000,000 円	無	無
4	選択してください					選択してください	選択してください

※5つ以上ある場合には、特に関連のあるもの4つを記載してください。

(3)現在実施中又は申請中(予定を含む)の補助金・助成金との比較

(2)に記載した「実施中」、「申請中(予定も含む)」の補助金・助成金について、重複助成防止の観点から下記の事業概要を必ず記入してください。

本ページ以降、
水色のセルは自動転記のため入力不要

基準日(令和8年6月1日)現在

No.	2
助成事業名	ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金
テーマ名	〇〇による▼▼の開発
申請状況	実施中
事業内容	●●の向上と■ ■ ■を図るため、〇〇〇をするための▼▼の開発を行う。
対象期間	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日
対象経費	①機械装置・システム構築費 ②外注費
成果物	〇〇に関するソフトウェア・装置

No.	2
助成事業名	中小企業のIoT化支援事業(公募型共同研究)
テーマ名	〇〇のためのアプリ開発
申請状況	実施中
事業内容	●●の向上と■ ■ ■を図るため、〇〇〇をするための▼▼の開発を行う。
対象期間	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日
対象経費	①●●費 ②■ ■ ■費
成果物	〇〇に関する試作品

No.	3
助成事業名	TOKYO戦略的イノベーション促進事業
テーマ名	▽▽を用いた新たな◎◎技術の開発
申請状況	実施中
事業内容	●●の向上と■ ■ ■を図るため、〇〇〇をするための▼▼の開発を行う。
対象期間	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日
対象経費	①●●費 ②■ ■ ■費
成果物	〇〇に関するソフトウェア・装置

No.	4
助成事業名	
テーマ名	
申請状況	必要に応じてプルダウン選択してください
事業内容	
対象期間	
対象経費	
成果物	

6. 役員・株主名簿

履歴事項全部証明書に記載されている全役員及び持株比率が70%を超えるまでの全ての株主を持ち株比率が多い順に記載し、それぞれの方が該当する欄(役員・株主)に「○」を、役職等の欄に役員は「役職」、それ以外の方は「申請企業との関係又は職業」を記載してください。なお、行は必要に応じて追加していただいて構いません。

基準日(令和8年6月1日)現在

No.	役員名又は株主名	役員	株主	役職等	持ち株数	持ち株比率
1	東京 太郎	○	○	代表取締役	90	90.0%
2	東京 花子	○	選択してください	代表者妻		0.0%
3	品川 二郎					0.0%
4	秋葉 三郎	○	選択してください	監査役		0.0%
5	☆☆企画(株)	選択してください	○	取引先	10	10.0%
6						0.0%
7		選択してください	選択してください			0.0%
8						0.0%
9		選択してください	選択してください			0.0%
10		選択してください	選択してください			0.0%
11		選択してください	選択してください			0.0%
-	その他の株主					0.0%
合計					100	100.0%
役員・株主名簿が「履歴事項全部証明書」又は「確定申告書 別表二」と異なる理由						
<p>現状の役員又は株主が「履歴事項全部証明書」又は「確定申告書 別表二」と異なる場合、内容が異なる理由を記入すること。</p> <p>※令和8年6月1日以降に、役員・株主・資本金・従業員数等に変更が生じる可能性が高い場合も、異なる理由内にご記入ください。</p>						

上記「役員・株主名簿」の中で、募集要項記載の大企業、大企業の役員又は職員に該当する株主・役員がある場合はその情報を記載してください。

No.	役員名又は株主名	企業名	資本金額	従業員数	業種
1	☆☆企画(株)	☆☆企画(株)	150,000,000 円	250名	情報サービス業
2					
3					

※大企業の役員又は職員がいわゆる副業により兼務している場合も記載してください。

その場合は、経営の自主性、独自性が損なわれていないことが認められる必要があります。

実 施 計 画

I. 開 発 計 画

1. 申請概要

申請テーマ (20文字以内)	女性向け〇〇デバイスの△△化	20文字以内
(1) 本事業が対象とするテーマ(複数選択可) ※募集要項P.2を参照のうえ選択してください		
○	月経	産後ケア
選択してください	更年期	ヘルスリテラシー
必要に応じてプルダウン選択してください		
(2) 申請種別(新規・改良) ※プルダウン選択		
種別(新規・改良)	新規開発	プルダウン選択してください
(3) 本事業を実施する背景、必要性 ※動機や目的のほか、既存事業との関係性も含めて記載してください ※文字サイズ9pt以上、下枠内に収まるように記載してください		
<p>当社では〇〇年より〇〇デバイスを製造販売しており、☆☆シリーズとして年商〇千万円の市場規模を有する。これまでの〇〇な△△の男性をメインターゲットとしていたが、〇〇年に〇〇調査したところ、△△の悩みを抱える女性にもニーズがあることが判明した。その背景として、現代における〇〇といった現状や、△△という点が考えられる。一方で、女性の〇〇における課題やニーズに対応させるには、既存製品において△△と□□の課題があり、これらの課題への対応が必要不可欠である。</p> <p>そこで、〇〇の設計変更と試作評価を実施することで、△△や□□の課題を解決するとともに、〇〇性を向上させ、女性ユーザーのニーズに対応した高機能製品へ改良し、女性の……や△△といった悩みの解決に貢献したい。</p>		
(4) 本事業で解決する女性の健康課題の詳細 (誰のどのような課題を解決するのかを客観的な事実・データを交えて説明)		
<p>本事業では〇代～〇代の△△の悩みを抱える女性をメインターゲットとする。△△の悩みを抱える女性は全国で〇万人いるとされており、更に把握できていない潜在的なニーズも〇万人ほど存在すると推定されている(参考:〇〇年～報告)。</p> <p>本開発により〇〇の△△といった女性の悩みを解決できることから、社会的意義および市場ニーズは高いと想定される。</p>		
(5) 本事業による課題の解決方法 ※本事業の概要を簡潔に記入してください		
<p>〇〇装置は、□□を用途とし、××できる装置である。 ……に使用でき、～ △△に対応しており、～</p> <p>本事業の概要を簡潔に記入してください</p>		
(6) 本事業による女性の健康課題解決の波及効果		
<p>本事業によって〇〇することができれば、□□によって社会課題となっている〇〇の解決及び、働く女性の△△向上に寄与できる可能性がある。本事業による〇〇は都内企業への……を生み、△△にも繋がり都内経済への貢献が期待できる。</p> <p>主に以下の点を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本助成事業の成果の活用方法(今後のビジネスでどのように活かしていくか) ・本助成事業により期待される波及効果(技術力向上、経営基盤強化、経済・業界への波及効果、社会的貢献度) 		

2. 開発・改良等の内容

(1) 研究開発内容の説明

※助成対象期間内に開発する内容の範囲が分かるように記載してください
 ※文字サイズ9pt以上、下枠内に収まるように記載してください

令和8年11月1日以降の開発・改良内容の範囲が分かるように記入
 (既に開発済の内容を応用・活用する場合は区別して明示)
 例1 ○○機能は、令和○年○月にリリースされたオープンソースを利用
 例2 令和○年○月～令和○年○月に自社開発した○○ブロックを実装

(2) 開発物(改良等含む)の予定数量 (開発・改良等の目標を達成できる必要最小限の数量とすること)

	数量	単位	複数製作する場合の理由 ※数量2以上の場合のみ記載
最終試作	1	個	
途中試作 ※製作する場合のみ記入			
1次	数量	単位	試作品を製作する理由
	ソフトウェアの場合は「数量=1、単位=式」 最終試作の数量が「1」の場合、複数製作の理由は記入不要		
	数量	単位	
2次	10	個	評価試験のため
3次	数量	単位	試作品を製作する理由

※ソフトウェアは原則として数量は「1」、単位は「式」としてください。

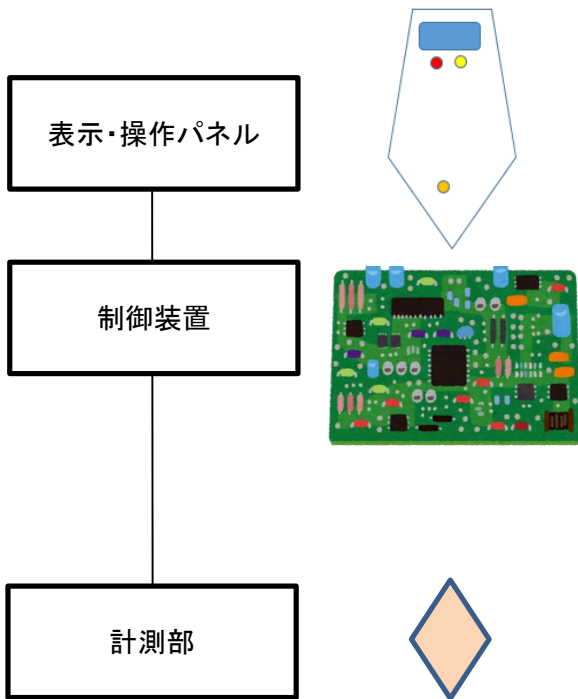
※開発途中の試作品も記載してください。ただし、試作品に改良を加えて最終開発物を製作する場合の試作品は記載不要（助成事業終了時に残る試作品のみ記載）

※試作品は管理状況を明らかにし、かつ、**助成事業が完了した年度の翌年度から起算して5年経過する日まで保存する義務**があります。

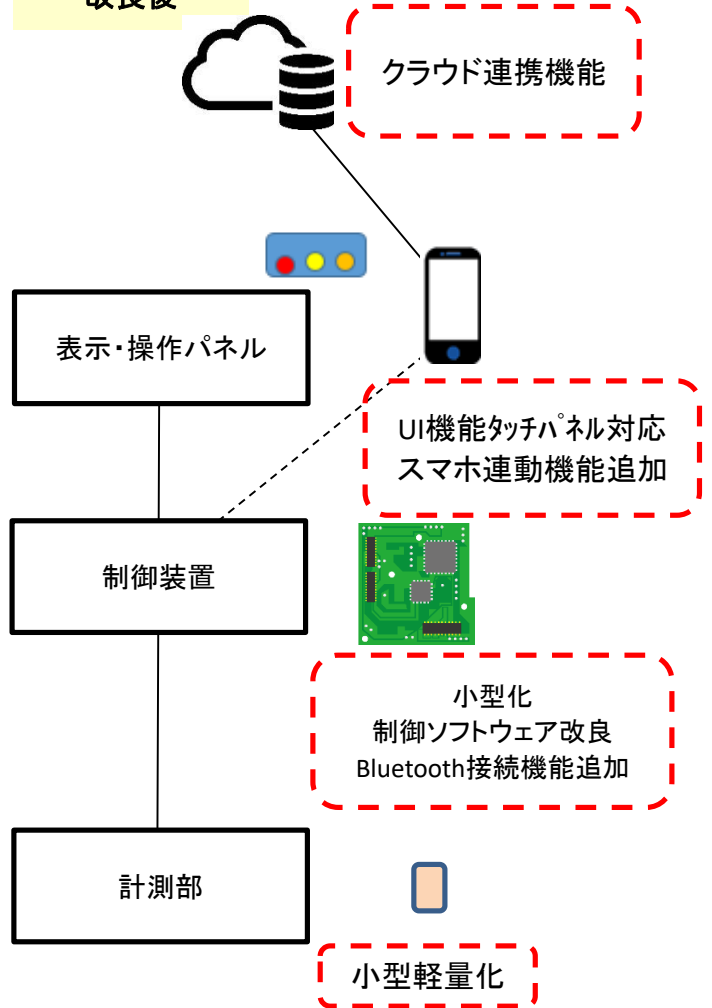
(3) 最終開発物のイメージ(イメージ図や画像等を添付)

改良の場合の例

改良前



改良後



3. 新規性

開発・改良等を行う製品の技術的な新規性を以下の内容を含めて記載してください。

- ①既存技術・製品と比較した技術的な新規性
- ②自社既存事業との関連や新規開発要素 (文字サイズ9pt以上、下枠内に収まるよう記載)

・〇〇が□□のものは他に存在しない。その理由は、……。今回開発する製品は……が特徴であり、当社だけの技術である。

・自社既存製品として□□は既の実績がある。
今回〇〇と□□の機器を開発し組み合わせることで開発が実現する。

〇〇の説明:……

□□の説明:……

研究開発における技術的な新規性について次の視点で記入

(ア)本研究開発における新しさを示す技術開発要素

(イ)自社の既存事業との関連と新規開発要素

(ウ)従来技術・競合他社が有する技術との比較

4. 優秀性

開発・改良等を行う製品の技術的な優秀性を以下の内容も含めて記載してください。

- ①競合製品、既存製品と比較して優位性を示す具体的要素
- ②市場・業界等への技術的な波及効果、社会貢献度
- ③顧客又は自社へもたらすメリットの大きさ (文字サイズ9pt以上、下枠内に収まるよう記載)

・既存商品として……の〇〇は存在するが、……は××な点が障壁となっている。
一方で今回開発する製品は△△で…できる点で、××に悩む女性であっても手軽に利用できる製品である。

・……の業務を効率化させることができる

・□□が△△であるため、……業界に…や…等の技術革新をもたらすことができる

・……によって医療における〇〇を是正することができる。

研究開発における技術的な優位性について次の視点で記入

(ア)競合製品、既存製品と比較して優位性を示す具体的要素

(イ)本研究開発による市場・業界等への技術的な波及効果、社会貢献度

(ウ)顧客又は自社へもたらすメリットの大きさ

例 利便性の向上、高付加価値化、コスト削減、自社の成長・発展

5. 研究開発の達成目標

注意事項		<p>①申請書提出後、達成目標の変更はできません。</p> <p>②達成目標に記載した全ての内容について達成を公社が確認できなかった場合は、事業完了とならず、助成金は交付されません。</p> <p>③開発する製品等の「新規性」「優秀性」の中から特長的な機能・性能を1つ以上(最大3つまで)「達成目標」として記入してください。</p> <p>④達成目標は審査・検査の評価要素であるため、第三者がその内容を客観的に確認できるように記入してください。</p>							
		達成目標 (数値目標は「性能」欄に記入)				達成の確認方法 (達成を確認するための試験・評価方法を規定し、その内容を記入)			
目標 1	機能	〇〇な女性でも携帯できるよう折りたたむための仕様とする				図面、製品写真及び操作説明から機能性を確認。持ち運び評価を行い、実際に携帯できることを確認する。			
	性能	折りたたみ時の厚さ: 〇〇センチ以内				ゲージを用いて、〇〇1個の厚さが〇〇センチ以内であることを確認する。			
証明文書 (達成目標を証明する文書に○)		仕様書・要件定義書	○	必要に応じてプルダウン選択してください		選択してください	写真・画面コピー・動画	○	
		試験報告書	選択してください			選択してください	その他()	選択してください	
目標 2	機能	クラウドシステムとの接続機能を有し、スマートフォンと連動する機能を有する。				スマートフォンから〇〇結果が読み出せることを確認する。			
	性能	接続距離〇m以上				〇m離れた条件下で、接続していることを確認する			
証明文書 (達成目標を証明する文書に○)		仕様書・要件定義書	○	必要に応じてプルダウン選択してください		選択してください	写真・画面コピー・動画	○	
		試験報告書	○			選択してください	その他()	選択してください	
目標 3	機能								
	性能								
証明文書 (達成目標を証明する文書に○)		仕様書・要件定義書	選択してください	設計書	選択してください	ソースコード	選択してください	写真・画面コピー・動画	選択してください
		試験報告書	選択してください	図面	選択してください	運用マニュアル	選択してください	その他()	選択してください

6. 技術的課題と解決方法

※「5. 研究開発の達成目標」に記載した目標内容に対応させて記入すること

		技術的課題	解決方法
目標 1	機能	〇〇の軽量化	材質を□□から△△へ変更する
	性能	基盤面積の小型化にあたり、…………の課題がある	□□を●●化することで……
目標 2	機能	本体部とスマホの無線化	Bluetoothを用いて接続する
	性能	本体に取り付け可能な小型サイズで〇m以上通信できる無線通信デバイスが存在しない	小型サイズのデバイスを選定、かつアンテナの形状を工夫する
目標 3	機能		
	性能		

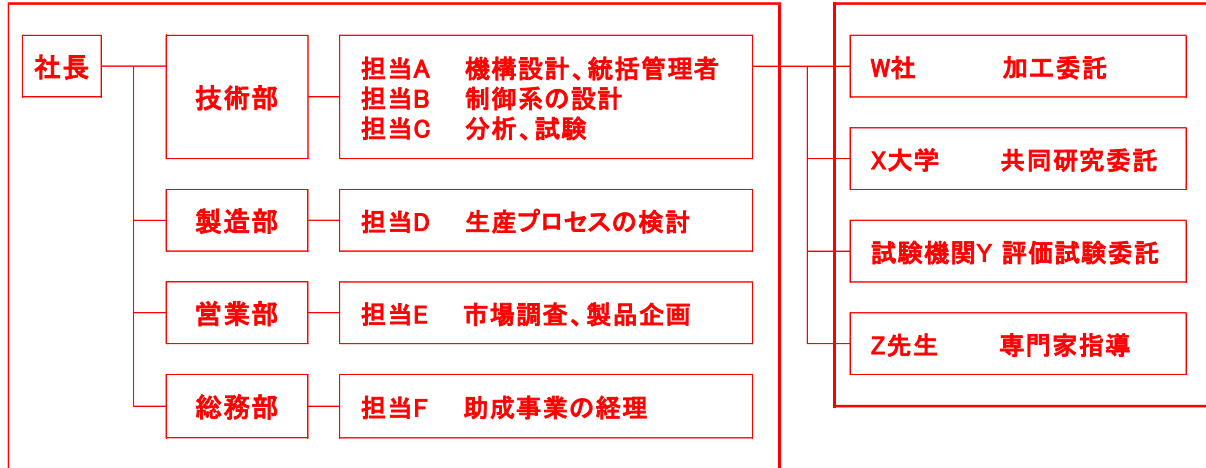
7. 本研究開発の基礎となる研究開発の実績

(ア) 期間 (いつからいつまでの間に行ったか)
 (イ) 内容 (どのような研究を行ったのか)
 (ウ) 成果
 (エ) 技術導入、研究協力の状況
 ※技術導入については、当該技術の所有者等について記入してください。また、大学や公設の試験研究機関等からの技術協力がある場合には、その内容についても記入してください。

8. 開発体制

(1) 開発・改良等の社内外体制図、担当者の役割分担等について、以下の点も含めて記載してください

- ① 研究開発の実施体制（開発従事者、経理担当者等、社内的人员配置）
- ② 他企業との連携体制、役割分担等
- ③ 本研究開発における開発主担当者の関わり方 （文字サイズ9pt以上、下枠内に収まるよう記載）



(2) 自社の統括管理者(開発主担当者)

氏名	〇〇 〇〇	在籍年数	平成〇年〇月～現在
所属部署	技術部	役職	部長
技術面での得意分野	■■■、〇〇〇		
研究開発の経歴	〇〇年 〇〇卒業 〇〇年 株式会社〇〇に入社、▲▲の製造に7年間従事 〇〇年 〇〇株式会社にて、〇〇部で〇〇の開発に10年間従事 〇〇年 当社の技術部で■■事業の開発に10年従事		

9. 市場性

ターゲット(想定顧客)	想定販売先: ○○、○○の販売会社 想定ユーザー: □□の○○である女性(○代~□代)		
ターゲット市場の動向・規模・特徴等	2025年報告書より 動向:により大きく注目を集めている 規模: ○○年後億 △△年後億		
ターゲット市場のうち獲得可能と考えられる市場規模	初年度...○○千円 2年目...○○千円 3年目...○○千円 算出根拠: 機能が 上記の市場規模を基に算出 されており、本製品には○○の機能を△△千円と設定。初年度売上高□□千円(○個販売)、2年目...、3年目...。		
助成事業終了後の収益計画			
	初年度	2年目	3年目
売上高	20,000,000 円	100,000,000 円	200,000,000 円
営業損益	9,000,000 円	40,000,000 円	80,000,000 円
売上高の算出根拠 ※価格×数量等の具体的な算式を用いて記入			
初年度	20,000円×1,000台 ディーラー経由で販売、個人向けネット販売をスタート		
2年目	20,000円×5,000 上記に記入した売上高の算出根拠を3年分記入		
3年目	20,000円×10,000台 認知度向上による販売数増加		
競合製品、類似製品(ない場合は比較対象となりうる自社製品や業界標準等を記入)			
製品名	開発・販売元(企業名等)	主な機能、仕様	
○○	株式会社●● https://●●.com/	▲▲を使用した機器は日本◎◎法では承認されていないため日本での治療には医師の判断が必要である。	
競合となる製品について、最も代表的と考えられる3製品を記入 (競合となりうる製品が見当たらない場合は、本開発の参考となる自社製品、業界標準等を記入)			
製品名	開発・販売元(企業名等)	主な機能、仕様	

10. 安全性

リスクマネジメント

①安全性確保、②信頼性確保の視点で開発品が抱えるリスクを洗い出し、重要度順にご記入ください。あわせて、解決策によってどのようにリスクを解消するかもご記入ください。

①安全性の確保

想定されるリスク	<p>①安全な製品であるためには〇〇と□□のリスクがある</p> <p>②〇〇について……する可能性が考えられる。</p> <p>③…について、××の危険性がある。</p>
解決策	<p>①〇〇認証の×等級を取得予定である</p> <p>②□□を実施して、△△のリスクを……まで引き下げる</p> <p>③……を〇〇することにより、△△を実現する。</p>

②信頼性の確保

想定されるリスク	<p>①……において□□のリスクがある</p> <p>②△△の負荷がかかった時に……の危険性がある。</p>
解決策	<p>①〇〇規格の□等級を取得し、防水防塵機能を付加する。</p> <p>②……を〇〇化することで△△の衝撃に耐えうる設計とする。 衝撃は……の振動データをスコア化し、……の方法で測定し〇〇以下となるよう設計する。</p>

医療機器に該当しますか

医療機器に該当するか確認したい場合は、東京都健康安全研究センター 薬務課 監理指導担当 (03-5320-4512) にお問い合わせください。

プルダウン選択してください

医療機器に該当

選択してください

本事業遂行にあたっての法令順守、環境配慮等への取り組み

・医療機器クラス〇の…であるため、〇〇と△△が必要となる。〇〇については…で取得し、△△については××に協力依頼を行う予定である。

・〇〇という製品の特性上、△△の規制について▽▽の対応を行う。

・…の製造物責任については、××で対応する。

社内における女性活躍推進への取り組み(任意)

〇〇の費用助成や女性特有の悩みに関するセミナーを実施する等、女性社員のキャリア形成を支援する人事制度を導入済みである。

11. 産業財産権(特許権、実用新案権、意匠権、商標権)

(1) 先行技術調査の結果(特許情報プラットフォームJ-PlatPat等により検索)

特許情報プラットフォームJ-PlatPat (<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>)等により、開発又は改良内容が他者の産業財産権(特許権、実用新案権、意匠権、商標権)に抵触していないか十分に確認してください。
また、箇条書きで構いませんので、類似産業財産権との相違点を入力してください。

類似特許番号	特許***** 特開20**-*****
類似特許との相違点	株式会社●●は◆◆の特許を取得しているが、当社が取得している○○の方が効果が高い。 また、当社は海外展開を図るため海外でも特許取得済みである。(特許***** WO2000/0000) 特許の具体的な内容：●●社は××であるが効果がない。当社の■■は##だけでなく@@も同時に行うことができる。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">箇条書きでも構いませんので、類似特許との相違点を示してください。</div>

(2) 今回の研究開発に必要な産業財産権を出願又は保有しているか

選択してください

※「はい」と回答した場合、それはどのような権利か

<input type="checkbox"/>	特許権	<input type="checkbox"/>	実用新案権
<input type="checkbox"/>	商標権	<input type="checkbox"/>	意匠権

公開番号、又は登録番号等→

※保有する産業財産権が1つ以上ある場合は、最も主となる権利を記入してください。

必要に応じてプルダウン選択してください

(3) 今回の研究開発において、他者が保有する産業財産権の実施許諾を受ける予定か

選択してください

※「はい」と回答した場合、それはどのような権利か

<input type="checkbox"/>	特許権	<input type="checkbox"/>	実用新案権
<input type="checkbox"/>	商標権	<input type="checkbox"/>	意匠権

公開番号、又は登録番号等→

※許諾を受ける産業財産権が1つ以上ある場合は、最も主となる権利を記入してください。

(4) 今回の開発又は改良(本助成事業)の成果を産業財産権として出願予定か

選択してください

※「はい」と回答した場合、それはどのような権利か

※(2)または(3)に記載した産業財産権の特許等公報を、PDF形式等で1ファイルにまとめて、申請フォームから提出してください。
※出願公開前の出願明細書は、記入及び提出書類として添付不要です。

<input type="checkbox"/>	商標権を出願予定	<input type="checkbox"/>	意匠権を出願予定
--------------------------	----------	--------------------------	----------

12.先導的ユーザーへの導入計画

※先導的ユーザーへの導入費を申請する場合は記入してください。

番号	先導的ユーザー(導入予定先)	目標数量	単位	目標導入時期
1	◇◇株式会社	1	個	令和 10 年 10 月
2				令和 年 月
3				
4				令和 年 月
5				令和 年 月

先導的ユーザーへの導入費用を計上する場合は、必ず想定しているユーザーを入力してください。

納品予定(年月日)を入力してください。

〈先導的ユーザーの詳細〉

番号	1		
導入先名称	◇◇株式会社		
代表者名	〇〇 〇〇		
所在地	東京都〇〇区〇〇町〇-〇〇-〇〇		
担当部署	〇〇課	担当者	〇〇
TEL	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
URL			
上記導入先は、自社との資本関係、役員または従業員の兼務、自社代表者3親等以内の親族による経営などの関係の有無(該当する欄に✓)	<input checked="" type="checkbox"/>	関係はない	関係がある
選定理由	〇〇な取組を行っていることから、影響力が大きく他ユーザーへの波及効果が最も期待できるため。		
導入計画	◇◇株式会社に導入し、〇〇について実証した上で、△〇で発信し〇×を目指します。		

番号	2		
導入先名称			
代表者名			
所在地			
担当部署		担当者	
TEL			
URL			
上記導入先は、自社との資本関係、役員または従業員の兼務、自社代表者3親等以内の親族による経営などの関係の有無(該当する欄に✓)	<input type="checkbox"/>	関係はない	関係がある
選定理由			
導入計画			

番号	3		
導入先名称			
代表者名			
所在地			
担当部署		担当者	
TEL			
URL			
上記導入先は、自社との資本関係、役員または従業員の兼務、自社代表者3親等以内の親族による経営などの関係の有無(該当する欄に✓)	<input type="checkbox"/>	関係はない	関係がある
選定理由			
導入計画			

番号	4		
導入先名称			
代表者名			
所在地			
担当部署		担当者	
TEL			
URL			
上記導入先は、自社との資本関係、役員または従業員の兼務、自社代表者3親等以内の親族による経営などの関係の有無(該当する欄に✓)	<input type="checkbox"/>	関係はない	関係がある
選定理由			
導入計画			

番号	5		
導入先名称			
代表者名			
所在地			
担当部署		担当者	
TEL			
URL			
上記導入先は、自社との資本関係、役員または従業員の兼務、自社代表者3親等以内の親族による経営などの関係の有無(該当する欄に✓)	<input type="checkbox"/>	関係はない	関係がある
選定理由			
導入計画			

II. 資金計画

1. 研究開発の資金計画

助成対象期間の全体経費を記入してください。

(1) 経費区分別内訳

(単位:円)

経費区分	助成事業に要する経費(税込)	助成対象経費(税抜)	助成金交付申請額(千円未満切捨)	備考	修正額を入力
開発・改良フェーズ(助成率2/3 助成金交付申請額 上限2,000万円)					調整額
内訳	(1)原材料・副資材費	68,750	62,500	41,000	(1)-
	(2)機械装置・工具器具費	1,430,000	1,300,000	866,000	(2)-
	(3)委託・外注費			1,000,000	(3)-
	(4)産業			333,000	(4)-
	(5)専門			66,000	(5)-
	(6)直接			1,483,000	(6)-
	(7)展示			666,000	(7)-
	(8)広告費	550,000	500,000	333,000	(8)-
	(9)その他助成対象外経費				
	開発・改良フェーズ計①	7,683,750	7,187,500	4,788,000	
普及促進フェーズ(助成率1/2 助成金交付申請額 上限350万円)					修正額を入力
先導的ユーザーへの導入費用					調整額
内訳	(10)原材料			00	(10)-
	(11)機械装			00	(11)-
	(12)委託・外			00	(12)-
	(13)直接人			00	(13)-
	小計	1,720,000	1,588,000	794,000	
展示会等参加費・広告費					
内訳	(14)展示会等参加費			250,000	(14)-
	(15)広告費			30,000	(15)-
	(16)その他助成対象外経費				
	小計	670,000	580,000	280,000	
	普及促進フェーズ計②	2,336,000	2,148,000	1,074,000	
合計					
	①+②	10,019,750	9,335,500	5,862,000	

(2) 資金調達内訳

※資金調達金額の合計と上記①+②の合計を一致させてください

内訳	資金調達金額	調達先(名称等)	進捗状況等	備考
自己資金	10,019,750			
銀行借入金			選択してください	
役員借入金			選択してください	
その他()			選択してください	
合計	10,019,750			

- 注1 「助成事業に要する経費」には、当該研究開発を遂行するために必要な経費を記入してください。
- 注2 「助成対象経費」には、「助成事業に要する経費」のうち、助成対象となる経費のみを記入してください。
- 注3 助成事業者の役員及び正社員が研究開発又は改良に係る工程に直接従事する場面に要する経費を対象とします。助成金額は、1,000万円が上限となります。直接人件費のみを申請する場合も同様です。

必要に応じて進捗状況をプルダウンで選択してください

2. 資金支出明細

【開発・改良フェーズ】

<開発・改良フェーズ>

(1) 原材料・副資材費

※試作品の一部として構成または組み込まれる部品等は、原材料・副資材費に計上すること

※特注の部品類等は、委託外注費に計上すること

※試作金型に係る費用は機械装置・工具器具費に計上すること

(単位:円)

支出番号	品名	仕様	用途	数量(A)	単位	単価(B) (税抜)	助成事業に 要する経費 (税込)	助成対象経費 (A)×(B) (税抜)	購入企業名
原-1	○○○	○×	試作品原材料	10	個	3,750	41,250	37,500	□□商店
原-2	★★(消耗品)	××産 ○○	試作品製作 に使用	10	個	2,500	27,500	25,000	△△
原-3	大きさ 材質 規格等	例1:○○部に組込 例2:試験用							未定等不明確の場合は、 申請時点の候補先を記入
原-4							0	0	
原-5							0	0	
原-6							0	0	
原-7							0	0	
原-8							0	0	
原-9							0	0	
原-10							0	0	
原-11							0	0	
原-12							0	0	
原-13							0	0	
原-14							0	0	
原-15							0	0	
原-16							0	0	
原-17							0	0	
原-18							0	0	
原-19							0	0	
原-20							0	0	
計							68,750	62,500	

(2) 機械装置・工具器具費

【開発・改良フェーズ】

※リース・レンタルの場合は、(B)に助成対象期間内の月数×月額リース料・レンタル料の合計(税抜)を計上してください。

※試作金型に係る費用は、「(3) 委託費」ではなく「(2)機械装置・工具器具費」に計上してください。

※既存機械装置等の改良や修繕等、生産・量産用の機械装置等に係る経費は助成対象外となります。(単位：円)

支出番号	品名	用途	調達方法	設置期間(月)	数量(A)	単位	購入単価 又は リース料等 合計 (税抜) (B)	助成事業に 要する経費 (税込)	助成対象経費 (A) × (B) (税抜)	リース・ レンタル先 及び 購入企業名
機-1	○×装置	○○加工	購入		1	台	1,000,000	1,100,000	1,000,000	××機械㈱
機-2	○○サ ○○加工等	の開発	以外	4				330,000	300,000	○○(株)
機-3								0	0	
機-4			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-5			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-6			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-7			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-8			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-9			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-10			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-11			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-12			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-13			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-14			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-15			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-16			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-17			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-18			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-19			選 択 し て く だ さ い					0	0	
機-20			選 択 し て く だ さ い					0	0	
計								1,430,000	1,300,000	

<機械装置・工具器具購入計画書>

No.1 【開発・改良フェーズ】

(2)機械装置・工具器具費に計上した1件単価100万円以上(税抜)の物件について記載してください。
尚、1件あたり100万円以上(税抜)の購入品は、2社以上の見積書の提出が必要です。
表が足りない場合は、印刷範囲を広げてください。

支出番号	機-1	購入品名	○×装置		規格 (メーカー、 型番等)	○○○-○○○
設置場所		東京都○○市○○町○-○○-○○				
購入先	名前		××機械㈱			
	代表者名	○○ ○○	電話	○○○-○○○-○○○○		
	所在地	神奈川県○○市○○区				
	担当部署	営業○課	担当者名	○○ ○○		
購入予定時期	令和 9 年 12 月				契約予定金額	1,100,000 円(税込)
購入が必要な理由	主に以下の点について明確かつ具体的に記入 ①助成事業遂行にあたっての使用目的 ②レンタル・リースではなく、購入が必要な理由					
見積金額	1社目	1,100,000 円(税込)	2社目	1,200,000 円(税込)		
	2社入手困難な理由	やむを得ず2社提出できない場合は、その理由を記入 (ただし、「過去に取引実績があるから」等は不可)				
上記購入先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。						選択してください

支出番号	機-2	購入品名	○○サーバ		規格 (メーカー、 型番等)	
設置場所		東京都○○市○○町○-○○-○○				
購入先	企業名	○○(株)				
	代表者名	○○ ○○	電話	○○○-○○○-○○○○		
	所在地	埼玉県○○市○○区○○-○-○				
	担当部署	営業○課	担当者名	○○ ○○		
購入予定時期	令和 9 年 4 月				契約予定金額	300,000 円(税込)
購入が必要な理由	○○○○のため					
見積金額	1社目	300,000 円(税込)	2社目	500,000 円(税込)		
	2社入手困難な理由	購入先との関係をプルダウン選択				
上記購入先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。						選択してください

支出番号	機-3	購入品名			規格 (メーカー、 型番等)	
設置場所						
購入先	企業名					
	代表者名		電話			
	所在地					
	担当部署		担当者名			
購入予定時期	令和 年 月				契約予定金額	円(税込)
購入が必要な理由						
見積金額	1社目		円(税込)	2社目	円(税込)	
	2社入手困難な理由					
上記購入先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。						選択してください

(3) 委託・外注費

【開発・改良フェーズ】

※試作金型に係る費用は機械装置・工具器具費に計上すること

※技術開発を伴わない翻訳、デザイン、運用、保守に係る費用、人材派遣に係る費用は対象外

※特注部品は委託・外注費に計上すること

(単位:円)

支出番号	委託・外注内容	数量(A)	単位	単価(B) (税抜)	助成事業に 要する経費 (税込)	助成対象経費 (A)×(B) (税抜)	企業名
委-1	〇〇〇〇開発	1	式	1,500,000	1,650,000	1,500,000	〇〇株
委-2					0	0	
委-3							
委-4					0	0	
委-5					0	0	
委-6					0	0	
委-7					0	0	
委-8					0	0	
委-9					0	0	
委-10					0	0	
委-11					0	0	
委-12					0	0	
委-13					0	0	
委-14					0	0	
委-15					0	0	
委-16					0	0	
委-17					0	0	
委-18					0	0	
委-19					0	0	
委-20					0	0	
計					1,650,000	1,500,000	

未定等不明確の場合は、申請時点の候補先を記入

<委託・外注計画書>

No.1

【開発・改良フェーズ】

(3) 委託・外注費に計上した**全ての外注先**について記載してください。
 尚、1件100万円以上(税抜)の経費は、**2社以上の見積書の提出**が必要です。
 表が足りない場合は、印刷範囲を広げてください。

支出番号	委-1	企業名	〇〇(株)		
代表者名	〇〇〇〇		電話	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
所在地	東京都〇〇市〇〇町〇-〇〇-〇〇				
担当部署	企画〇〇部		担当者名	〇〇 〇〇	
事業内容	〇〇 〇〇開発・販売事業				
契約予定期間	令和 8 年 5 月 ~ 令和 8 年 6 月				
契約予定金額	1,650,000 円(税込)				
委託・外注内容	〇〇〇〇の〇〇〇〇の開発		2-13. フロースケジュールと整合するように記入		
納品予定物	〇〇仕様書		納品物の具体的な内容を記入		
選定理由	選定に至った委託(外注)先の技術的特長と理由を具体的に記入				
見積金額	1社目	1,750,000	円(税込)	2社目	1,650,000 円(税込)
	2社入手困難な理由	やむを得ず2社提出できない場合は、その理由を記入(ただし、「過去に取引実績があるから」等は不可)			
上記委託先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。					選択してください

支出番号	委-2	企業名			
代表者名			電話		
所在地					
担当部署			担当者名		
事業内容					
契約予定期間	令和 年 月 ~ 令和 年 月				
契約予定金額	円(税込)				
委託・外注内容					
納品予定物					
選定理由					
見積金額	1社目		円(税込)	2社目	円(税込)
	2社入手困難な理由				
上記委託先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。					選択してください

(4) 産業財産権・出願導入費

【開発・改良フェーズ】

※先行技術調査、審査請求、登録費用は対象外

(単位:円)

支出番号	対象の技術・製品	権利名	内容	弁理士事務所 又は 権利所有企業名	単価 (税抜)	助成事業に 要する経費 (税込)	助成対象経費 (税抜)
産-1	〇〇	特許権	出願	〇〇事務所	500,000	550,000	500,000
産-2		選択してください	選択してください			0	0
産-3		選択してください	選択してください			0	0
産-4		選択してください	選択してください			0	0
産-5		選択してください	選択してください			0	0
産-6		選択してください	選択してください			0	0
産-7		選択してください	選択してください			0	0
産-8		選択してください	選択してください			0	0
産-9		選択してください	選択してください			0	0
産-10		選択してください	選択してください			0	0
計						550,000	500,000

必要に応じてプルダウン選択

未定等不明確の場合は、申請時点の候補先を記入

(5) 専門家指導費

【開発・改良フェーズ】

※本申請の開発に直接寄与する技術指導のみが助成対象

(単位:円)

支出番号	指導者名(所属)	専門分野	保有資格・経験	指導内容	指導日数(A)	単価(B)(税抜)	助成事業に要する経費(税込)	助成対象経費(A)×(B)(税抜)
専-1	〇〇	××	品質管理事務に〇年従事	品質管理	5	20,000	110,000	100,000
専-2	資格がない場合は、経験を記入						0	0
専-3							0	0
専-4							0	0
専-5							0	0
専-6							0	0
専-7							0	0
専-8							0	0
専-9							0	0
専-10							0	0
計							110,000	100,000

<専門家指導の計画書>

No.1

【開発・改良フェーズ】

(5)専門家指導費に計上した**全ての専門家**について記載してください。
表が足りない場合は、印刷範囲を広げてください。

支出番号	専-1	専門家氏名	〇〇 〇〇	電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇
住所	東京都〇〇市〇〇町〇-〇〇-〇〇〇〇				
経歴・実績	〇〇大学 〇〇学部 准教授(〇〇博士)として〇〇の研究 前頁の支出番号と対応して記入 2-13. フロースケジュールと整合するように記入				
契約予定期間	令和 8 年 10 月 ~ 令和 9 年 6 月				
契約予定金額	110,000 円(税込)				
指導内容	助成事業遂行にあたり、指導を受ける必要性についても具体的に記入				
上記指導先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。					選択してください

支出番号	専-2	専門家氏名			
住所	指導先との関係をプルダウン選択				
経歴・実績					
契約予定期間	令和 年 月 ~ 令和 年 月				
契約予定金額	円(税込)				
指導内容					
上記指導先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。					選択してください

支出番号	専-3	専門家氏名		電話	
住所					
経歴・実績					
契約予定期間	令和 年 月 ~ 令和 年 月				
契約予定金額	円(税込)				
指導内容					
上記指導先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。					選択してください

支出番号	専-4	専門家氏名		電話	
住所					
経歴・実績					
契約予定期間	令和 年 月 ~ 令和 年 月				
契約予定金額	円(税込)				
指導内容					
上記指導先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。					選択してください

(6) 直接人件費①

【開発・改良フェーズ】

< 従事時間見積表 >

(単位: 時間)

工程		設計		製作	試験・評価		
支出番号	従事者氏名	要件定義 ・ 目標仕様	設計	試作 ・ プログラミング	単体テスト	総合テスト	合計
人-1	東京 太郎	100	100	200	50	50	500
人-2		工程に必要と見積もられた作業時間を記入					
人-3							
人-4							
人-5			従事総時間数の限度は、1人につき 1日8時間、年間1,800時間				
人-6							
人-7							
人-8							
人-9							
人-10							

(6) 直接人件費②

支出 番号	従事者氏名	所属/役職	保有資格・経験	従事 時間 (A)	時間単価 (B)	助成事業に 要する経費	助成対象経費 (A)×(B)
人-1	東京 太郎	代表取締役	〇〇技術士	500	4,450	2,225,000	2,225,000
人-2				0	選択してください	0	0
人-3							0
人-4				0	選択してください	0	0
人-5							0
人-6							0
人-7				0	選択してください	0	0
人-8				0	選択してください	0	0
人-9				0	選択してください	0	0
人-10				0	選択してください	0	0
計						2,225,000	2,225,000

資格がない場合は、経験を記入

募集要項の「人件費単価一覧表」を参照の上、プルダウン選択

直接人件費の助成金交付申請額は、1,000万円が上限(助成対象期間中の総額)です

(7) 展示会等参加費

【開発・改良フェーズ】

(単位:円)

経費番号	オンライン	展示会名	会期	会場名	数量(A)	単位	単価(税抜)(B)	助成事業に要する経費(税込)	助成対象経費(税抜)(A)×(B)	支払先
展-1	×	×○産業展	令和9年7月20日~23日	東京ビッグサイト	1	小間	1,000,000	1,100,000	1,000,000	☆☆エキシビジョン
展-2	選択してください							0	0	
展-3	選択してください					小間		0	0	
展-4	選択してください					小間		0	0	
展-5	選択してください					小間		0	0	
計								1,100,000	1,000,000	

展示会等参加費と広告費合計の助成金交付申請額は、500万円が上限です

オンラインの展示会に参加する場合は○を選択

(8) 広告費

(単位:円)

経費番号	広告種別	具体的な内容	数量(A)	単位	単価(税抜)(B)	助成事業に要する経費(税込)	助成対象経費(税抜)(A)×(B)	掲載媒体又は支払先
広-1	印刷物製作	パンフレット	1,000	部	400	440,000	400,000	○○印刷
広-2	PR映像制作	商品紹介動画	1	式	100,000	110,000	100,000	○○(株)
広-3	選択してください					0	0	
広-4	選択してください					0	0	
広-5	選択してください					0	0	
計						550,000	500,000	

広告種別をプルダウン選択

印刷物製作費の助成限度額は、50万円です
PR映像製作費の助成限度額は、50万円です

(9) その他助成対象外経費

※助成対象ではないが、本助成事業に要する経費があれば記載してください。

(単位:円)

支出 番号	経費項目	内容	(A) 単価 (税込)	(B) 数量	(A)×(B) 助成事業に 要する経費 (税込)
他-1					0
他-2					0
他-3					0
他-4					0
他-5					0
計					0

<普及促進フェーズ>

【普及促進フェーズ】

(10) 原材料・副資材費

※製品の一部として構成または組み込まれる部品等は、原材料・副資材費に計上すること

※特注の部品類等は、委託外注費に計上すること

※金型に係る費用は機械装置・工具器具費に計上すること

(単位:円)

支出番号	品名	仕様	用途	数量(A)	単位	単価(B) (税抜)	助成事業に 要する経費 (税込)	助成対象経費 (A)×(B) (税抜)	購入企業名
原-1	○○×	○○	試作品原材料	10	個	2,000	22,000	20,000	□□□
原-2							0	0	
原-3	大きさ 材質 規格等	例1:○○部に組込		開発する予定数量に					未定等不明確の場合は、 申請時点の候補先を記入
原-4							0	0	
原-5							0	0	
原-6							0	0	
原-7							0	0	
原-8							0	0	
原-9							0	0	
原-10							0	0	
原-11							0	0	
原-12							0	0	
原-13							0	0	
原-14							0	0	
原-15							0	0	
原-16							0	0	
原-17							0	0	
原-18							0	0	
原-19							0	0	
原-20							0	0	
計							22,000	20,000	

(11) 機械装置・工具器具費

【普及促進フェーズ】

※(B)に助成対象期間内の月数×月額リース料・レンタル料の合計(税抜)を計上してください。

※既存機械装置等の改良や修繕等、生産・量産用の機械装置等に係る経費は助成対象外となります。(単位:円)

支出番号	品名	用途	調達方法	設置期間(月)	数量(A)	単位	リース料等合計(税抜)(B)	助成事業に要する経費(税込)	助成対象経費(A)×(B)(税抜)	リース・レンタル先の企業名
機-1	××装置	○×加工	リース	5	1	台	500,000	550,000	500,000	○○工業(株)
機-2		○○加工等	選択し					0	0	
機-3			選択し					0	0	
機-4			選択し					0	0	
機-5			選択し					0	0	
機-6			選択し					0	0	
機-7			選択し					0	0	
機-8			選択し					0	0	
機-9			選択し					0	0	
機-10			選択し					0	0	
機-11			選択し					0	0	
機-12			選択し					0	0	
機-13			選択し					0	0	
機-14			選択し					0	0	
機-15			選択し					0	0	
機-16			選択し					0	0	
機-17			選択し					0	0	
機-18			選択し					0	0	
機-19			選択し					0	0	
機-20			選択し					0	0	
計								550,000	500,000	

<機械装置・工具器具費計画書>

No.1【普及促進フェーズ】

(2)機械装置・工具器具費に計上した1件単価100万円以上(税抜)の機械装置・工具器具費について記載してください。
尚、1件あたり100万円以上(税抜)のリース・レンタル品は、2社以上の見積書の提出が必要です。

支出番号	機-1	リース・レンタル品名	××装置		規格 (メーカー、 型番等)	○○○○○
設置場所		東京都○○区○○町○-○-○				
リース・レンタル先		名前	○○工業㈱			
		代表者名	○○ ○○	電話	○○-○○○○-○○○○	
		所在地	東京都○○区○○町○○-	前シートに記載した1列の税込金額を記入		
		担当部署	○○部	担当者名	○○ ○○	
リース・レンタル予定時期	令和 8 年 12 月			契約予定金額	550,000 円(税込)	
リース・レンタルが必要な理由	助成事業遂行にあたっての使用目的を明確かつ具体的に記入					
見積金額	1社目	550,000 円(税込)		2社目	700,000 円(税込)	
	2社入手困難な理由	やむを得ず2社提出できない場合は、その理由を記入 (ただし、「過去に取引実績があるから」等は不可)				
上記リース・レンタル先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。						選択してください

支出番号	機-2	購入品名	リース・レンタル先との関係をプルダウン選択			
設置場所					型番等)	
リース・レンタル先		企業名				
		代表者名		電話		
		所在地				
		担当部署		担当者名		
リース・レンタル予定時期	令和 年 月			契約予定金額	円(税込)	
リース・レンタルが必要な理由						
見積金額	1社目	円(税込)		2社目	円(税込)	
	2社入手困難な理由					
上記リース・レンタル先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。						選択してください

(12) 委託・外注費

【普及促進フェーズ】

※金型に係る費用は機械装置・工具器具費に計上すること
 ※翻訳、デザイン、運用、保守に係る費用、人材派遣に係る費用は対象外
 ※特注部品は委託・外注費に計上すること

(単位:円)

支出番号	委託・外注内容	数量(A)	単位	単価(B) (税抜)	助成事業に 要する経費 (税込)	助成対象経費 (A)×(B) (税抜)	企業名
委-1	〇〇社向け製作	1	式	800,000	880,000	800,000	株〇〇
委-2					0	0	
委-3					0	0	
委-4					0	0	
委-5					0	0	
委-6					0	0	
委-7					0	0	
委-8					0	0	
委-9					0	0	
委-10					0	0	
委-11					0	0	
委-12					0	0	
委-13					0	0	
委-14					0	0	
委-15					0	0	
委-16					0	0	
委-17					0	0	
委-18					0	0	
委-19					0	0	
委-20					0	0	
計					880,000	800,000	

未定等不明確の場合は、申請時点の候補先を記入

以下の経費は対象外となります
 ・マーケティング、モニター等調査費
 ・人材派遣に係る経費
 ・共同研究に要する経費
 ・外部に技術指導を受ける場合に要する経費

<委託・外注計画書>

No.1 【普及促進フェーズ】

(3) 委託・外注費に計上した**全ての外注先**について記載してください。
尚、1件100万円以上(税抜)の経費は、**2社以上**の見積書の提出が必要です。
表が足りない場合は、印刷範囲を広げてください。

支出番号	委-1	企業名	(株)〇〇			
		所在地	神奈川県〇〇市〇〇区〇-〇-〇〇			
		電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇			
		担当部署	〇×部	担当者名	〇〇 〇〇	
		事業内容	××の開発事業			
		契約予定期間	令和 10 年 9 月 ~ 令和 10 年 9 月			
		契約予定金額	880,000 円(税込)			
		委託・外注内容	××の××開発			
		納品予定物	××仕様書			
		選定理由	選定に至った委託(外注)先の技術的特長と理由を具体的に記入			
		見積金額	1社目	880,000 円(税込)	2社目	1,000,000 円(税込)
			2社入手困難な理由	やむを得ず2社提出できない場合は、その理由を記入(ただし、「過去に取引実績があるから」等は不可)		
上記委託先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。					選択してください	

支出番号	委-2	企業名							
		代表者名							
		所在地							
		電話							
		担当部署							
		事業内容							
		契約予定期間	令和	年	月	~	令和	年	月
		契約予定金額	円(税込)						
		委託・外注内容							
		納品予定物							
		選定理由							
		見積金額	1社目	円(税込)	2社目	円(税込)			
			2社入手困難な理由						
上記委託先は、自社と資本関係、役員または従業員の兼務、自社の代表者3親等以内の親族による経営ではない。								選択してください	

(13) 直接人件費①
 <従事時間見積表>

【普及促進フェーズ】

(単位:時間)

工程		設計		製作	試験・評価		
支出 番号	従事者氏名	要件定義 ・ 目標仕様	設計	試作 ・ プログラミン グ	単体テスト	総合テスト	合計
人-1	× × × ×	50	50	50	30	20	200
人-2							
人-3		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> 工程に必要と見積もられた作業時間を記入 </div>					
人-4							
人-5							
人-6							
人-7							
人-8							
人-9							
人-10							

(13) 直接人件費②

【普及促進フェーズ】 (単位:円)

支出番号	従事者氏名	所属/役職	保有資格・経験	従事時間(A)	時間単価(B)	助成事業に要する経費	助成対象経費(A)×(B)
人-1	××××	××課	〇〇士	200	1,340	268,000	268,000
人-2				0	選択してください	0	0
人-3							0
人-4				0	選択してください	0	0
人-5				0	選択してください	0	0
人-6				0	選択してください	0	0
人-7				0	選択してください	0	0
人-8				0	選択してください	0	0
人-9				0	選択してください	0	0
人-10				0	選択してください	0	0
計						268,000	268,000

資格がない場合は、経験を記入

募集要項の「人件費単価一覧表」を参照の上、プルダウン選択

(14) 展示会等参加費

【普及促進フェーズ】

(単位:円)

経費番号	オンライン	展示会名	会期	会場名	数量(A)	単位	単価(税抜)(B)	助成事業に要する経費(税込)	助成対象経費(税抜)(A)×(B)	支払先
展-1	○	○○展	○期	-	1	小間	500,000	550,000	500,000	△△(株)
展-2	選択してください							0	0	
展-3	選択してください					小間		0	0	
展-4	選択してください					小間		0	0	
展-5	選択してください					小間		0	0	
計								550,000	500,000	

オンライン展示会に関する出展小間料の助

オンラインの展示会に参加する場合は○を選択

(15) 広告費

(単位:円)

経費番号	広告種別	具体的な内容	数量(A)	単位	単価(税抜)(B)	助成事業に要する経費(税込)	助成対象経費(税抜)(A)×(B)	掲載媒体又は支払先
広-1	印刷物製作	チラシ	300	部	200	66,000	60,000	(株)○○
広-2	選択してください					0	0	
広-3	選択してください					0	0	
広-4	選択してください					0	0	
広-5	選択してください					0	0	
計						66,000	60,000	

広告種別をプルダウン選択

印刷物製作費の助成限度額は、50万円です
PR映像製作費の助成限度額は、50万円です

Webサイトの製作に係る経費は助成対象外です

(16) その他助成対象外経費

※助成対象ではないが、本助成事業に要する経費があれば記載してください。

(単位:円)

支出 番号	経費項目	内容	(A) 単価 (税込)	(B) 数量	(A)×(B) 助成事業に 要する経費 (税込)
他-1					0
他-2					0
他-3					0
他-4					0
他-5					0
計					0